

じしんなどの災運をぼくはまたしんでも、  
ワなどのとてもつよいじしんをまだけいけん  
したことはなけれど、あと20年以内  
にたぶんかいトラフがおきるときいて、今  
おころるかもしれないし、あしたおきるかも  
しれないじしんにたえられるように、自分  
を守る。他人を守るよ、なかつてうもして  
いきたい。

。じしんの時にどのようなように新聞を作っていたか  
ということも良くわかりました。

見れなかった。た。ドラマも見たい。

とても分かりやすく説明してくださって  
良く分かりました。

新聞記者さんかとてもがんばったというこ  
とが伝わった。

《火害によつて説明してくれた  
人もちよつと舞<sup>舞</sup>こと<sup>事</sup>で死<sup>死</sup>にかけ  
たといつていて僕は死<sup>死</sup>は  
目の豆<sup>豆</sup>刑<sup>刑</sup>にあつていつ死<sup>死</sup>ぬかも  
わからな<sup>な</sup>いと思<sup>思</sup>つた。た<sup>た</sup>か<sup>か</sup>ら  
今<sup>今</sup>生<sup>生</sup>きて<sup>て</sup>いる時<sup>時</sup>間<sup>間</sup>を<sup>を</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>う  
こ<sup>こ</sup>う<sup>う</sup>か<sup>か</sup>つ<sup>つ</sup>よ<sup>よ</sup>う<sup>う</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>生<sup>生</sup>き<sup>き</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>つ<sup>つ</sup>  
う<sup>う</sup>と<sup>と</sup>思<sup>思</sup>つ<sup>つ</sup>い<sup>い</sup>い<sup>い</sup>経<sup>経</sup>験<sup>験</sup>に<sup>に</sup>な<sup>な</sup>つ<sup>つ</sup>た<sup>と</sup>  
実<sup>実</sup>感<sup>感</sup>し<sup>し</sup>た。

私は地震の怖さ。肌を刺す  
をしいていました。しかし、色々か火  
から色々の方向で開けていくうちに  
だんだん怖くなくなってきました。なぜ  
かどうも地震で家族や両親  
を失うこともあつた。たと田舎うけおとも  
ちやんと地震を今までおしえてくれる人は  
地震にも負けぬ強い生き物だと思つてからです。

自分は、地震のことは恐しいもの、昔に起きこものはやばいもの。といったように思っていた。頭の中で存在は一応している。その存在感はあまりなく影が薄い。今回新聞記者さんの話を聞いて、地震じというものの存在感がからってかわった。実際の経験などの話が頭の中に刻まれた。わすれない。

授業をうけて新聞の方たちの  
大切さ。阪神・淡路大しんせいのこわ  
さがあるため知った。来ていただいた方  
のお話し、すごくこわかったけど、家族  
と相談できる機会になったのでよかったです。  
近所の方たちと協力したなど、くわしく  
教えてくれて、もっと○○○しよう！など、  
思わさせてくれた。こういう場面があって  
よかったです。と思う。

三好さんの話をきく前までは、もう雨辰  
火のことはいし、てまししと思ひ、たけど、  
三好さんの話をきいても、と地しんのことを  
知れだし、話をきいていると感心してきま  
し。削まるはかんとうしたことがなかっ  
たので、今回はかんとうしたので、  
かんとうしたということは、すこ  
くはなしが伝わったといついなので、  
よくなりました。

ぼくは、地震はさうまで凶悪では  
ないとおもっていただけど、地震  
は建物をたおしたりする、  
してもちりものたし知れた。  
新聞記者の話を写真とかがて  
分かるものがてきからちゃん  
と聞いてよかたと思う。



社会の勉強で新聞や取材のし  
かたなどを教えてもらつた。

阪神淡路大しんさいがこキ  
建物がたおれてくる所の写真  
を見せてもらつて二人ならたが  
くるのやとびっくりました。

新聞記者の三好さんの話を聞いていると

地震はただ「こわい」だけじゃなく、「おそろしい」  
物であり、人の人生をうばう物であることが

は、きりわかりました。昔、小さな地震なら出会う

たことがあるんですが、大きな地震に会うなん

てとんでもないと思ひました。画面を見てみると

おどろきすぎして言葉になりませんでした。

これからも地震の勉強をして、自分の身を守る  
ようにしていきたいと新ためて思ひました。